評 価 結 果 報 告 書

事業所番号	1473300810
法人名	医療法人社団　桜栄会
事業所名	グループホーム　和楽の里
訪問調査日	平成21年3月31日
評価確定日	平成21年5月7日
評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん　株式会社フィールズ

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
Ⅰ. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

○項目番号について
外部評価は30項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[取り組みを期待したい項目]
確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
[取り組みを期待したい内容]
「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
家族等　＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家　族　＝家族に限定しています。
運営者　＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員＝　管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム　＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1． 評 価 結 果 概 要 表

［認知症対応型共同生活介護用］

作成日 平成 21年 4月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	第1473300810号		
法人名	医療法人社団　桜栄会		
事業所名	グループホーム　和楽の里		
所在地	横浜市緑区北八朔町1272-2 （電　話）　045-937-4033		
評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん株式会社フィールズ		
所在地	藤沢市鵠沼橘１－２－４　クゲヌマファースト３Ｆ		
訪問調査日	平成21年3月31日	評価確定日	平成21年5月7日

【情報提供票より】（ 平成 21年 2月 10日事務所記入）

（1）組織概要

開設年月日	平成 17年 3月 1日			
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計　18人		
職員数	23人	常勤 8人	非常勤 15人	常勤換算 4.3人

（2）建物概要

建物構造	（木造平屋）造り
	1 階建ての　1階部分

（3）利用料金等（介護保険自己負担分を除く）

家賃（平均月額）	121,460 円		その他の経費（月額）	20,000 円
敷　金	無			
保証金の有無 （入居一時金含む）	250,000円		有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり　1,165 円			

（4）利用者の概要　（ 2月10日 現在）

利用者人数	18 名	男性	8 名	女性	10 名
要介護1		名	要介護2		4 名
要介護3		8 名	要介護4		5 名
要介護5		1 名	要支援2		名
年齢	平均	85 歳	最低 71 歳	最高	97 歳

（5）協力医療機関

協力医療機関名	湘陽かしわ台病院　横浜新緑総合病院　川和歯科

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、緑に囲まれた閑静な住宅街の中にあり、広い敷地と平屋造りのゆったりとした環境に恵まれています。入居者は、落ち着いた雰囲気の中で、のびのびと明るく、生き生きと日々の生活を楽しんでいます。ホームの運営は管理者を中心に、「利用者本位」「利用者のさらなる満足」の実現を目指して、全職員は情報の共有化を図るなど、日々の実践に取り組んでいます。また、ホームでの「利用者から学ぶ姿勢」が職員と利用者や家族との絆を強め、ホーム内での活力をとなっています。職員は利用者のわずかな変化も見逃さず、身体機能を最大限に維持できるよう健康面や安全管理面への配慮には万全を期しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①

前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況（関連項目：外部4）

運営推進会議のメンバーに地域の代表者が加わったこともあり、地域との連携強化は確実に前進しています。ホームの理念は分かりやすい標語で表現することにより、職員の理解度は一段と高まり、日々のケアの中で実践しています。家族会、社外研修会への積極的な参加、必要資格への取り組みなど、職員のスキルアップに前向きであり、意欲的な姿勢が見られます。

今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）

全職員が自己評価表に記入、ミーティング等で理解しあいながら、ユニットリーダーがまとめました。読み合わせと話し合いの場を通して、確実に理解度が高まり意思の疎通が図られました。

重点項目②

運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6）

平成１９年１１月以降、運営推進会議は6回開かれ、８～１０名の参加者があり、毎回真剣な討議が行われています。委員から報告書のまとめ方を指摘されて改善したり、書道ボランティアの紹介、自己評価と外部評価の説明、近隣消防団の避難訓練への参加予定、委員以外の職員が希望すれば出席できるなど、大きな成果に繋がっています。

重点項目③

家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）

苦情・相談はいつでも対応できるようになっており、過去の苦情・意見は苦情情報記録書にまとめられ、的確に処理されています。家族会では活発な意見交換が行われ、議事録に詳細に記録しています。苦情の受付や手順などは、玄関壁面に明示されています。また、誰にでも分かるように職員全員の顔写真が最近掲示されました。

重点項目④

日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）

運営推進会議からのアドバイスを得て、地域行事活動は積極的に行っています。子供１１０番は次の機会となりましたが、公園の清掃、盆踊りへの参加、ボランティアによる定期的な書道教室、クリスマスの演奏会、手品などの協力が得られるようになりました。たすけあいカードの提出、ペットボトルのキャップも集めて提供しています。

2. 評価結果(詳細)

(　 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅰ.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	**○地域密着型サービスとしての理念** 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念や基本方針の狙いを、職員は話し合いの中から、「ゆったり楽しく生き生きと」「一緒にいるとほっとする、あなたと私の集う家」というホーム独自の標語をつくりあげました。理念と質の高いサービスを表した、この標語の実践がホームの目標になっています。		
2	2	**○理念の共有と日々の取り組み** 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念と標語は玄関に表示、毎週1回唱和して、職員全員で理念を共有しています。理念の解釈について職員間で話し合い、分かりやすい標語にまとめたことにより日頃からの熱心な学習の大きな成果です。		
2.地域との支えあい					
3	5	**○地域とのつきあい** 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議からのアドバイスを得て、地域行事活動を積極的に行いました。公園の清掃、盆踊りへの参加、ボランティアによる定期的な書道教室、クリスマスの演奏会、手品などの協力が得られるようになりました。たすけあいカードの提出、ペットボトルのキャップも集めて提供しています。		
3.理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	**○評価の意義の理解と活用** 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価表に記入、ミーティング等で理解しあいながら、ユニットリーダーがまとめました。読み合わせと話し合いの場を通して、理解しにくい言葉の解釈などが進み意思の疎通が図られました。家族会や運営推進会議には委員以外の職員も、希望すれば出席できるようになりました。		
5	8	**○運営推進会議を活かした取り組み** 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、平成19年11月から既に6回開かれ、8～10名の参加者があり、毎回真剣な討議が行われています。報告書のまとめ方を委員から指摘されて改善したり、書道ボランティアの紹介、自己評価と外部評価の説明、近隣消防団の避難訓練への参加予定など、大きな成果をあげています。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	**○市町村との連携** 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	月1回の区ブロック会議、横浜市グループホーム連絡会、消防署職員参加による消火訓練、緊急入所相談、支援費調査、生活保護関係、空き室などの情報交換等が行われています。		
4．理念を実践するための体制					
7	14	**○家族等への報告** 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の健康状態や金銭管理状況が、毎月家族に報告されています。家族会やイベント情報などを盛り込んだホームだよりを年4回以上発行して、ホームの生活状況を紹介しています。年4回の家族会での話し合いは活発で、記録は丁寧に分かりやすくまとめられています。		
8	15	**○運営に関する家族等意見の反映** 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情･相談は苦情情報記録書にまとめられ、的確に処理されています。家族会では活発な意見交換がなされ、議事録に詳細に記されています。苦情の受付や手順などは玄関正面の壁面に明示されています。また、誰にでも分かるように、全職員の顔写真も掲示されました。		
9	18	**○職員の異動等による影響への配慮** 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新規職員は先輩職員との組み合わせ、研修時の勤務調整など、利用者の不安を最小限に抑えるように配慮しています。異動があった場合も、非常勤職員を常勤職員に変更するなど、運営に支障のない対応を取っています。		
5．人材の育成と支援					
10	19	**○職員を育てる取り組み** 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらﾄﾚｰﾆﾝｸﾞしていくことを進めている	研修の実施状況と内容はファイルにして、まとめています。ユニットリーダーを中心にした自己評価項目の実践、ケアマネージャー等による定期的な社内研修、新人へのOJT、個別の面談による課題解決にも取り組んでいます。	○	今後は職員の希望にそった他施設との交換研修や外部研修のさらなる実施が期待されます。
11	20	**○同業者との交流を通じた向上** 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ﾈｯﾄﾜｰｸづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣ホームとの連絡会、横浜市グループホーム連絡会での情報交換、系列の施設間の交流が定期的に行われています。今後は交換研修を通した他施設との交流を行う意向です。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	**○馴染みながらのサービス利用** 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所契約前に必ずホームに来所してもらい、ホーム長から契約･理念について、十分説明し、納得を得ています。話しやすい関係づくりから、体験入居、お茶会やレクリエーションにも参加していただき、不安や疑問点を解消するようにしています。入居後は近況をこまめに報告するなど家族との連携を密にしています。		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	**○本人と共に過ごし支えあう関係** 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の自立に添うよう、風呂、ボタンかけなど自分の力で出来ることは見守るようにしています。利用者が孤立しないように、利用者同士の支えあいにも気を配っています。職員も人生の先輩である利用者から多くを学んでいます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1．一人ひとりの把握					
14	33	**○思いや意向の把握** 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望や意向は日常の会話やふれ合いの中や家族からの情報収集により把握しています。それらの結果は業務連絡ノートを活用して記録し、職員間で共有しています。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	**○チームでつくる利用者本位の介護計画** 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	利用者の思いや意向を把握しつつ、ユニットごとに1ヶ月1回のケアカンファレンスや本人･家族との話し合いなどをベースに介護計画を作成･見直しを行っています。家族の方々には議事録をお渡し確認していただいています。		
16	37	**○現状に即した介護計画の見直し** 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、通常6ヶ月毎に見直していますが、介護計画の進捗状況を3ヶ月に1回再確認しています。必要に応じて、介護計画の変更や追加を話し合い、その人に合った自立した生活ができるように心がけて支援しています。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3．多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	**○事業所の多機能性を活かした支援** 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームの広いフロアーでは、月2回実施されているボランティアによる書道教室が好評です。入居者は他のユニットへ出向くなどして相互の交流を楽しんでいます。月2回のパンの訪問販売、理･美容サービスも楽しみの一つです。	○	書道教室には、ご家族や近隣の方々、折紙教室には、子供会等にも声を掛け合い、ふれあいの場としても期待されます。
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	**○かかりつけ医の受診支援** 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時の利用者や家族の意向を尊重し、かかりつけ医の訪問診療、看護師の訪問看護が受けられるように支援しています。		
19	47	**○重度化や終末期に向けた方針の共有** 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合は、契約時の医療行為の同意書に基づき、本人や家族ともよく話し合い、また、スタッフミーティングでも方針を共有の上、かかりつけ医とも相談して、最善の支援ができるように努めています。		
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 **1．その人らしい暮らしの支援** **(1) 一人ひとりの尊重**					
20	50	**○プライバシーの確保の徹底** 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ誘導時などには、利用者一人ひとりの自尊心を損ねないよう、さりげない声かけなど細心の注意を払っています。個人情報の記録等は、鍵のついたロッカーに保管し、外部への「持ち出し禁止」を徹底しています。		
21	52	**○日々のその人らしい暮らし** 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの体調やペースを理解した上で、入浴や買物など、本人の希望に添えるよう、それぞれの生活リズムが保てるように支援しています。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	**○食事を楽しむことのできる支援** 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みをよく理解した上で、職員は1週間交代で献立を立てています。利用者は食材の買物の同行のほか、食事の準備、配膳、後片付けなどを職員と一緒に行っています。		
23	57	**○入浴を楽しむことができる支援** 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望にそって入浴支援をしています。浴室に富士山の壁画を貼ったり、温泉気分を味わっていただけるよう入浴剤を使用するなど、入浴が楽しめるような工夫をしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	**○役割、楽しみごと、気晴らしの支援** 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	役割を自覚し、張り合いと喜びを持っていただけるように、掃除、ゴミ出し、新聞取り、洗濯物たたみ、草花の水遣り、雑草取りなど、一人ひとりができることを楽しめるように支援しています。		
25	61	**○日常的な外出支援** 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	週3回の買物時の利用者の同行、近隣への散歩、ドライブ同乗による気分転換など、それぞれの希望に出来るだけ添えるように支援しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	**○鍵をかけないケアの実践** 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は夜間18:00以降を除き、出入りは自由にできるようにしています。利用者の安全確保のため、玄関が開くとチャイムが鳴るなどの工夫により、鍵をかけないケアに取り組んでいます。		
27	71	**○災害対策** 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回以上は消防署や防災会社の協力の下に、近隣家庭への呼びかけを行って、消火訓練や利用者の避難訓練が実施されています。	○	夜間の災害に備えて、より一層地域住民の協力が得られるような連携強化が望まれます。とくに地元消防団などとの連携を期待します。

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	**○栄養摂取や水分確保の支援** 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事（主食･副食）･水分摂取量を記録して、利用者一人ひとりの体調管理に役立てています。とくに体重減少の場合は、特別メニューを用意したり、かかりつけ医に相談し補助食品で栄養を補うなどの工夫をしています。		
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり **(1) 居心地のよい環境づくり**					
29	81	**○居心地のよい共用空間づくり** 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	心地よい生活環境の確保に留意し、室温、換気、音量に配慮しています。食事やおやつ時間帯のＢＧＭ、季節ごとの室内飾り付け、書道、貼り絵、ぬり絵などの作品展示、各種行事の記念写真など、ゆったりした気分で過ごせるよう配慮しています。		
30	83	**○居心地よく過ごせる居室の配慮** 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には家族の協力を得て、本人が使い慣れ安心して居心地よく過ごせるように、テレビ、仏壇、写真、なじみの品々を部屋に持ち込み置かれています。		

自 己 評 価 票

○ 自己評価は全部で100項目あります。
○ これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
○ 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
○ 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

○ 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
Ⅰ．理念に基づく運営	22
1．理念の共有	3
2．地域との支えあい	3
3．理念を実践するための制度の理解と活用	5
4．理念を実践するための体制	7
5．人材の育成と支援	4
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1．一人ひとりの把握	3
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3．多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1．その人らしい暮らしの支援	30
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
Ⅴ．サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

［取り組みの事実］
ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

［取り組んでいきたい項目］
今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

［取り組んでいきたい内容］
「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

［特に力を入れている点・アピールしたい点］（アウトカム項目の後にある欄です）
日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 ＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家　族 ＝家族に限定しています。
運営者 ＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員＝ 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム ＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（№1から№87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（№88から№100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム和楽の里
（ユニット名）	たんぽぽ
所在地 （県・市町村名）	神奈川県横浜市緑区北八朔町１２７２－２
記入者名 （管理者）	中嶋　並子
記入日	平成　　２１年　　２月　　２５日

地域密着型サービス評価の自己評価票

（ ▒ 部分は外部評価との共通評価項目です ）

取り組んでいきたい項目

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅰ．理念に基づく運営				
1．理念と共有				
1	**○地域密着型サービスとしての理念** 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の理念について職員で話合い、理念のサブタイトルを付け全員に理解してもらう様にしています。		
2	**○理念の共有と日々の取り組み** 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は事務所に掲示して毎週一回の唱和を行い、ミーティング等においても理念の説明をしながら職員で共有をしています。		
3	**○家族や地域への理念の浸透** 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念を玄関に掲示して、地域の方の来訪時にも理解して頂いています。入所時には家族の方にも説明させて頂いています。		
2．地域との支えあい				
4	**○隣近所とのつきあい** 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	子供会の清掃時等には積極的に参加させて頂き、近隣の方には気軽に立ち寄って頂ける様にしています。近隣の方のボランティアの参加等もあり日常的なお付き合いをさせて頂いています。		
5	**○地域とのつきあい** 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会行事や地域の行事には積極的に参加し。ホームのイベントの際にも近隣の方には声をかけさせて頂いています。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	**○事業所の力を活かした地域貢献** 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の行事等に積極的に参加する等で地域高齢者との接点を持ちながら、貢献出来る様にしています。		
3．理念を実践するための制度の理解と活用				
7	**○評価の意義の理解と活用** 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価に取り組む事で外部評価の意義を理解して貰っています。実施後はミーティング等で改善策を話し合っています。		
8	**○運営推進会議を活かした取り組み** 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催しており、ホームのサービスについて積極的な意見を頂いています。会議での意見はミーティング等で話し合い、より良いサービスの向上に繋がっています。		
9	**○市町村との連携** 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターや区役所担当者とも連携を取りながら、ホームでのサービスの向上に努めています。		
10	**○権利擁護に関する制度の理解と活用** 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ミーティング時に成年後見制度についての説明をし、職員に理解して貰っています。	○	今現在ホームで後見制度を利用している方がいない為職員には認識不足の部分があるので、今後は社内研修等で補っていきたいと思います。
11	**○虐待の防止の徹底** 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者の虐待防止の定義を事務所に掲示して、常に目に付く様にして事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意しています。		

	項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	**○契約に関する説明と納得** 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所・契約の前には必ずホームに来所して頂き契約・理念等を理解して貰い、不安な点は充分説明して契約をさせて頂いています。		
13	**○運営に関する利用者意見の反映** 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常において常に、利用者様が職員に不満、苦情を相談出来る様にしています。その内容については職員で共用し、改善方法を話し合っています。		
14	**○家族等への報告** 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者様の日常生活や健康状態に変化が生じた時は速やかに連絡をさせて頂いています。年4回のホーム便りの発行をし、金銭管理は毎月郵送にて報告をしています。		
15	**○運営に関する家族等意見の反映** 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口については玄関に掲示させて頂いています。定期的な家族会や運営推進会議の実施によって外部の方、家族、管理者間で活発な意見交換をして運営に反映するように努めています。		
16	**○運営に関する職員意見の反映** 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に全体会議を行い職員の意見を反映させています。職員の個別の面談も定期的に行っています。		
17	**○柔軟な対応に向けた勤務調整** 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者や家族の状況の変化においては、各ユニットのリーダを中心として話合いをしながら勤務調整に努めています。		
18	**○職員の異動等による影響への配慮** 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの移動がない様には配慮しています。新職員入職の時には、ダメージを防ぐ為に2人1組で支援する様に配慮しています。		

項　目			(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5．人材の育成と支援				
19	**○職員を育てる取り組み** 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ケアマネージャー等による定期的な社内研修を実施しながら、全職員のレベルアップを図っています。	○	近隣の施設間などでの交換研修等、今後は外部研修等に力を入れていきたいです。
20	**○同業者との交流を通じた向上** 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣ホームの連絡会には積極的に参加して、情報収集･情報交換を行いサービスの向上に取り組んでいます。		
21	**○職員のストレス軽減に向けた取り組み** 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	定期的な面談及び、本人申し出時にすぐに対応し、ストレスをためない様にする機会を作っています。		
22	**○向上心を持って働き続けるための取り組み** 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の仕事状況を把握しながら、給料において反映してくれています。研修の参加によっても、常に向上心を持って業務に取り組める様にしています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 **1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応**				
23	**○初期に築く本人との信頼関係** 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	日々の生活の中から、個別に声を聞きながら信頼関係を築き、話しやすい関係を作る様に努力しています。		
24	**○初期に築く家族との信頼関係** 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族会の開催時や家族面会時に、ご家族とお話しする機会を作らせて頂いて、不安や要望を受け止める様にしています。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	**○初期対応の見極めと支援** 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の意向を良く聞きながら必要なサービスが出来る様に支援しています。他の施設、病院とも連携を取らせて貰っています。		
26	**○馴染みながらのサービス利用** 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居の際には必ず本人･家族の方にホームの見学をして頂き、充分に説明を行い納得して頂いています。体験入居等でホームの雰囲気に慣れて頂いています。		
２. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	**○本人と共に過ごし支えあう関係** 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者様には出来る事はなるべくご自分でやって頂いています。利用者様同士も、色々な場面で支え合う関係を持てています。		
28	**○本人を共に支えあう家族との関係** 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ホームの行事にはご家族にはなるべく沢山参加して頂き、一緒に楽しんで頂いています。		
29	**○本人と家族のよりよい関係に向けた支援** これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居時にこれまでの環境等を充分に聞かせて頂き、これまでの関係が継続出来る様に支援しています。入居後は家族への連絡を密にして、ホームでの状況を理解して頂いています。		
30	**○馴染みの人や場との関係継続の支援** 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の大切な人は電話や手紙で連絡を取れる様に支援させて頂いています。又面会の際等は気楽に来て頂ける様な雰囲気作りに努めています。		
31	**○利用者同士の関係の支援** 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	スタッフが間に入りながら話題作りをし、利用者様同士が関わり合い、孤立しないように見守り、声掛けをしています。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	**○関係を断ち切らない取り組み** サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスが終了してから継続的な関わりを必要とする利用者様があまりいらっしゃらないのであまり関わりはないです。	○	他の施設に移動された方にも電話などで連絡を取りながら状況を把握をしていきたいです。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握

33	**○思いや意向の把握** 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、本人の希望･意向を把握しながら支援しています。本人から困難な際には、ご家族からの協力も得て対応させて頂いています。		
34	**○これまでの暮らしの把握** 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前にご家族、本人と面談させて頂きながら今までの生活環境･家族環境･生活暦を把握し、馴染みの暮らしが出来る様に支援しています。		
35	**○暮らしの現状の把握** 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ホームの生活の中で心身状態を把握しながら健康管理に努めています。心身状態に変化が見られた時にはスタッフ間でカンファレンスを行い現状把握に努めています。		

2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	**○チームでつくる利用者本位の介護計画** 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	本人、家族との話合いの時間を定期的に持ち、要望等取り入れながら介護計画書を作成しています。		
37	**○現状に即した介護計画の見直し** 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間を概ね6ヶ月としていますが、利用者様の心身状態や環境要因が変化した時は、本人、家族関係者と話合いを持ち、新たな状況変化に対応した計画作成をしています。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	**○個別の記録と実践への反映** 日々の様子やケアの実践･結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護記録や各ユニットノートにも記入して、全職員が情報を共有しながら支援しています。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	**○事業所の多機能性を活かした支援** 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	近隣地域や、各種ボランティアの交流を図っています。ホーム内では各ユニットの利用者様間の交流も実施しています。	○	月に2回のボランティアさんによる書道教室を実施して、毎回ボランティさんに参加して頂いているので、今後は地域の方にもご参加頂きながら交流を図っていきたいと思います。
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	**○地域資源との協働** 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化･教育機関等と協力しながら支援している	町内会開催の行事や地域行事には積極的に参加させて頂いています。ボランティアさんによる催し物も積極的に実施してます。		
41	**○他のサービスの活用支援** 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入退居時には必要に応じて、他の業者との話合いをしながら本人に必要なサービスが受けられる様に支援しています。		
42	**○地域包括支援センターとの協働** 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとはあまり交流を持っていませんが、本人の意向に応じて、長期的なケアマネジメントを行っております。		地域包括支援センターと協働しながら必要に応じて権利擁護はケアマネジメントにおいて柔軟な対応が出来る様にしていきたいです。
43	**○かかりつけ医の受診支援** 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約の際にかかりつけ医がある方には医療の選択は利用者様、ご家族に決めて頂いて適切な医療が受けられる様に支援しています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	**○認知症の専門医等の受診支援** 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ホーム担当の精神科医が2週間に一度往診に来られ、職員が利用様の状況を伝え、相談しながら診断や治療を受けています。		
45	**○看護職との協働** 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護を利用されている方はほとんどいらっしゃらないが、主治医の診察が週一回あり定期的に利用者様の健康管理をして頂いております。		
46	**○早期退院に向けた医療機関との協働** 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入居者様が入院した際には病院の相談員さんと連携を取り、情報交換や相談をしながら早期に退院出来る様に支援しています。		
47	**○重度化や終末期に向けた方針の共有** 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合は本人、家族とも良く話し合いスタッフミーティングを行い皆で方針を共有し統一しています。		
48	**○重度化や終末期に向けたチームでの支援** 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること･できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所としての出来る事、できない事は利用者様の状況に変化が生じた場合ドクター、家族と良く話し合った上でスタッフにも伝え取り組み方を決めて支援しています。		
49	**○住み替え時の協働によるダメージの防止** 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移動の際は本人、家族の気持ちを充分に尊重しながら行っています。移動先にも状況をきちんと提供して混乱が起きない様に配慮しています。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	**○プライバシーの確保の徹底** 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ誘導時等、一人一人のプライバシーを損ねない様に配慮しています。記録等の情報の取り扱いも充分注意して行っております。		
51	**○利用者の希望の表出や自己決定の支援** 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	何か行動したりする際には、本人が納得出来る様に説明をさせて頂き、選択肢を作りながら自己決定の支援に努めています。		
52	**○日々のその人らしい暮らし** 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の入居者様の身体能力やペースを理解した上で希望にそってその人らしい暮らしが出来る様に支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	**○身だしなみやおしゃれの支援** その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている	2ヶ月に一度の理美容では本人の希望のスタイルやメニューを伺いながら行っています。希望があれば外の床屋さんにも行かれる様支援しています。		
54	**○食事を楽しむことのできる支援** 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物等利用者様に伺いながら献立を立てています。食材の買物等にも一緒に行って頂き職員と一緒に楽しみながら準備しています。		
55	**○本人の嗜好の支援** 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつは希望者様の好みを伺いながら提供しています。現在酒、たばこの支援をしている方はいらっしゃらないです。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	**○気持よい排泄の支援** 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表を元に一人一人のパターンを理解し、声掛け誘導にて失禁を出来るだけなくす様にしています。		
57	**○入浴を楽しむことができる支援** 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人に要望を伺いながら入浴支援をしています。入浴剤や浴室壁画等を張って入浴を楽しめる様にしています。		
58	**○安眠や休息の支援** 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の生活習慣やその日の状況に応じて休息、就寝して頂いています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	**○役割、楽しみごと、気晴らしの支援** 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除、ゴミ捨て、新聞取り、洗濯物たたみ等一人一人の力に合って出来る事をしながら、役割を持って日々の生活を送っています。		
60	**○お金の所持や使うことの支援** 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	月に2回の移動パン屋さんや外食時や生活用品購入の際にはご自分でお金を持って払って頂いています。		
61	**○日常的な外出支援** 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	週3回のお買い物の際には利用者様にも声を掛けさせて頂いて一緒に行っています。		
62	**○普段行けない場所への外出支援** 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間行事での遠足、お花見など個別に身体状況も踏まえて外出先を決めてご家族にも参加して頂いています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	**○電話や手紙の支援** 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の要望を伺いながら、手紙の代筆を行ったり電話の取りつぎ等の対応をしています。		
64	**○家族や馴染みの人の訪問支援** 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	本人馴染みに方が自由に訪問出来る憩いの場を提供しています。食事等を一緒に摂って頂いたりもしています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	**○身体拘束をしないケアの実践** 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については正しく理解出来る様に説明しており、工夫をしながら拘束のない支援に取り組んでいます。		
66	**○鍵をかけないケアの実践** 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は夜間以外は開放して自由に出入り出来る様にしています。利用者様の安全の為玄関が開くとチャイムが鳴る様にしています。		
67	**○利用者の安全確認** 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中、夜間を通して利用者様の所在確認、様子観察は常に注意を払って安全確保に努めています。		
68	**○注意の必要な物品の保管・管理** 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	はさみや爪きり等危険な物品の扱いは、利用者様の状況にあわせて使って頂いています。		
69	**○事故防止のための取り組み** 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	防災訓練、緊急マニュアル等を作成し、ミーティング等で話し合いを行いながら利用者様に応じた対応が出来る様に取り組んでいます。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	**○急変や事故発生時の備え** 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変、事故対応マニュアルを作成して勉強等を行っているが、訓練等を定期的に実施出来ていません。	○	外部から講師の方を招いて定期的な研修をおこなっていきたいと思います。
71	**○災害対策** 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署、防災株式会社の方の協力を得ながら定期的な訓練を行っております。災害時ささえあいに登録させて頂き、地域の方に説明をさせて頂きながら、協力を得られる様にしています。		
72	**○リスク対応に関する家族等との話し合い** 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	初期面談、入居契約時にはご家族に十分説明させて頂き理解して貰っています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	**○体調変化の早期発見と対応** 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝の健康チェックにてバイタル測定を行い記録しています。様子の変化や異変があった際には管理者に報告し、ドクターコールにて指示を仰いでいます。		
74	**○服薬支援** 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の名前・用法・作用を個別ファイルにて管理し、情報を共有しています。名前・日付を目と口頭で2名確認しながら与薬して頂きチェック表にて飲み忘れ防止にも努めています。		
75	**○便秘の予防と対応** 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日のリハビリ体操をして頂きながら、運動する時間を作っています。排便チェック表にて毎日確認して、なるべく薬に頼らず自然排便が出来る様に、ヨーグルトやオリゴ糖を摂取して頂いています。		
76	**○口腔内の清潔保持** 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後必ず歯磨き、うがい、義歯洗浄を一人一人の出来る力を活かしながら行っています。夜間は義歯をお預かりさせて頂きポリデント洗浄を実施しています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	**○栄養摂取や水分確保の支援** 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事・水分量を毎日記録しながら一人一人の状態に合わせた支援をしています。		
78	**○感染症予防** 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等）	食品衛生責任者が中心となり、定期的な勉強会を行いながら予防を行っています。		
79	**○食材の管理** 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	２日に一度スーパーへ行き新鮮な食材の調達をしています。食器、調理用具類は食器乾燥機にて除菌しながら衛生管理に努めています。		
２．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり **(1) 居心地のよい環境づくり**				
80	**○安心して出入りできる玄関まわりの工夫** 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	庭先には季節の花々を利用者様と一緒に植え、玄関周りには季節の飾り付けをしながら家庭的な雰囲気作りをして親しみ易い環境作りをしています。		
81	**○居心地のよい共用空間づくり** 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	心地よい生活空間を提供出来る様、室温、換気、音量等には配慮しながら、ゆったりとした気持ちで暮らせる様に取り組んでいます。		
82	**○共用空間における一人ひとりの居場所づくり** 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	全員が顔を見合わせて座れるテーブルがリビングにあり、ゆっくりテレビを観たり新聞を読んだりおしゃべりを楽しんだり出来る空間が確保出来るように配慮しています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	**○居心地よく過ごせる居室の配慮** 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には家族の協力を得ながら、本人が使用していた馴染みの物や写真を持ち込んで頂き、安心して過して頂ける様に工夫しています。		
84	**○換気・空調の配慮** 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝の掃除の際には、温度差に配慮しながら換気を行っており空気のよどみがない様に配慮しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	**○身体機能を活かした安全な環境づくり** 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ・洗面所・浴室には残存機能を充分生かせる様に手すりを設置して、出来るだけ自立して生活が送れる様にしています。歩行は車椅子に頼る事なく、手すりや歩行器使用にて支援しています。		
86	**○わかる力を活かした環境づくり** 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人の持っている力を把握しながら出来る事を出来る範囲で無理なく力を発揮出来る様支援しています。		
87	**○建物の外周りや空間の活用** 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	日中は玄関の鍵は開放してあり、利用者様が自由に出入りされています。庭先には季節の花々を植え、畑の野菜の収穫をしたり天気の良い日は外でレクリエーションを行っています。		

V．サービスの成果に関する項目

項目			最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点･アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

緑に囲まれとても環境の良い場所なので利用者様もとても落ち着いた雰囲気で過されております。リビングからは家庭菜園がいつも見え、四季折々の野菜を見る事が出来ます。
秋には毎年芋堀りを行ったり、夏にはトマト・キュウリの収穫をして食卓に並ぶ事もあります。　近隣を散歩すると近所の方が気軽に声を掛けて頂けたり、隣には柿畑があり、毎年美味しい柿をおすそわけして頂きアットホームな交流をさせて頂いています。
建物が平屋造りなのでとてもゆったりとした空間で生活しており、ユニット同士も自由に行き来出来るので、交流も持て身体状態もとても落ち着いています。書道ボランティアや季節毎の行事に地域の方のご参加も頂きとても楽しく生活しております。

自 己 評 価 票

○ 自己評価は全部で100項目あります。
○ これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
○ 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
○ 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

○ 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
Ⅰ．理念に基づく運営	22
1．理念の共有	3
2．地域との支えあい	3
3．理念を実践するための制度の理解と活用	5
4．理念を実践するための体制	7
5．人材の育成と支援	4
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1．一人ひとりの把握	3
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3．多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1．その人らしい暮らしの支援	30
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
Ⅴ．サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

［取り組みの事実］
ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

［取り組んでいきたい項目］
今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

［取り組んでいきたい内容］
「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

［特に力を入れている点・アピールしたい点］（アウトカム項目の後にある欄です）
日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 ＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家　族 ＝家族に限定しています。
運営者 ＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員＝ 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム ＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（№1から№87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（№88から№100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム和楽の里
（ユニット名）	ひまわり
所在地 （県・市町村名）	神奈川県横浜市緑区北八朔町１２７２－２
記入者名 （管理者）	笹川　純子
記入日	平成　　２１年　　2月　　２５日

地域密着型サービス評価の自己評価票

（ [shaded box] 部分は外部評価との共通評価項目です ）

取り組んでいきたい項目 →

項　目		取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容（すでに取り組んでいることも含む）
Ⅰ．理念に基づく運営				
1．理念と共有				
1	**○地域密着型サービスとしての理念** 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域社会の一員として安らぎと喜びのある生活を送れるように支援します。と独自の理念を掲げ支援しています。		
2	**○理念の共有と日々の取り組み** 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は事務所に掲示し一週間に一度唱和しています。ミーティングの際にも理念についての意見も出る為、意識して実践に向けて取り組んでいます。	○	今後も唱和を継続していき新しい職員にも意識してもらえるようにし全職員が同じ方向性で取り組んでいけるようにしたいと思います。
3	**○家族や地域への理念の浸透** 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念を玄関に掲示し家族や地域の方々に理解していただけるように努めています。		
2．地域との支えあい				
4	**○隣近所とのつきあい** 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	自治会のゴミ当番参加時や近隣の散歩の際には挨拶をし顔見知りになれるように努めています。	○	今後も子ども会の公園そうじに参加し、全職員が意識し参加できるようにしていき、子供会の子供さん達に気軽に立ち寄っていただけるよにしていきたいと思います。
5	**○地域とのつきあい** 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の行事には積極的に参加しています。又ホームの行事の際には声をかけさせていただき出席していただいています。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	**○事業所の力を活かした地域貢献** 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	取組んでいきたいと思っていますが実施できていません。	○	近隣のグループホームなどと行き来できるような環境づくりをしていきたいと思います。
3．理念を実践するための制度の理解と活用				
7	**○評価の意義の理解と活用** 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価を実施しており朝礼の際には自己評価票の読み合わせを行いその都度説明をしています。		
8	**○運営推進会議を活かした取り組み** 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動内容や取組みを報告し出席者の方々から意見をいただき、今後のサービス向上に活かしています。又、職員にもミーティングの際に報告しています。	○	運営推進会議にはいつも決まった職員が出席している為、今後は検討していきたいと思います。
9	**○市町村との連携** 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要に応じて、市町村担当者と連携を取り、ホームに来訪してくださっています。		
10	**○権利擁護に関する制度の理解と活用** 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度についてはミーティング等で言葉としては使っていますが、職員はまだ勉強不足でほとんど理解できていません。	○	今後は社内、社外研修で学ぶ機会をつくり必要な方には説明し、支援できるようにしていきたいと思います。
11	**○虐待の防止の徹底** 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	事務所内に掲示して、日常においても見過ごされる事のないように注意しています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4．理念を実践するための体制				
12	**○契約に関する説明と納得** 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ホーム内を見学していただき契約前に何度か話す機会を設けて納得した上で契約を結んでいます。必要に応じてはこちらから自宅や入院先の病院を訪問しています。		
13	**○運営に関する利用者意見の反映** 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	普段の生活の中で注意して観察し変化に気付けるようにして、意見を聞くようにしています。又、不満についてもその都度聞くようにしています。		
14	**○家族等への報告** 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に日常の様子を伝え、体調に変化があった時には、その都度連絡をしています。職員の異動等については家族会の際に報告しています。	○	家族会にはいつも同じ職員の参加になっていますがメンバーを固定せずパートさんにも参加してもらえるようにしていきたいです。
15	**○運営に関する家族等意見の反映** 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付窓口については玄関に掲示しています。苦情があった場合にはその都度、職員に報告し改善に努めるようにしています。		
16	**○運営に関する職員意見の反映** 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議、ユニット会議を定期的に行い意見交換の場を設けて反映しています。必要に応じて個々と話し合う機会も設けています。		
17	**○柔軟な対応に向けた勤務調整** 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	行事の際に通常より職員が多くなるよう調整し安全面や無理のないように考えています。		
18	**○職員の異動等による影響への配慮** 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者様の事を考えた上で十分に検討し配慮しながら職員異動を行っています。新しい職員には少しずつなじめるような配慮をしています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5．人材の育成と支援				
19	**○職員を育てる取り組み** 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらﾄﾚｰﾆﾝｸﾞしていくことを進めている	社内研修はミーティングを兼ねて行なっています。社外研修には積極的に参加するような意向はありますが、実際にはほとんど参加できていません。	○	近隣の施設間で相互訪問等が出来るようになり、より質を向上させていく取組みをしていきたいです。
20	**○同業者との交流を通じた向上** 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者が近隣のグループホーム連絡会に出席し、情報交換を行っています。		
21	**○職員のストレス軽減に向けた取り組み** 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員補充の努力を常にしています。又、話を聞こうとする姿勢もあると思います。		
22	**○向上心を持って働き続けるための取り組み** 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各職員の努力や実績を明確に把握しているとは考えにくいですが、給料には反映してくれています。勤務状況も把握しようとしています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 **1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応**				
23	**○初期に築く本人との信頼関係** 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	日常生活の中で傾聴して受けとめる努力をする事で信頼関係を築けるようにして、話しやすい関係をつくれるようにしています。		
24	**○初期に築く家族との信頼関係** 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	定期的に家族会を行い意見交換の場を設けています。面会時にはご家族と話をする機械をつくり、不安や求めている事を受け止めようと努力しています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	**○初期対応の見極めと支援** 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人やご家族に話を聞いて、状況に応じた支援を見極めようとしています。現在、訪問マッサージや訪問リハビリの利用などもしています。		
26	**○馴染みながらのサービス利用** 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族と一緒に見学していただき他の入居者様とお茶を飲んでいただいたり、レクリエーションに参加していただきホームの雰囲気に馴染んでいただけるようにしています。		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	**○本人と共に過ごし支えあう関係** 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	可能な限り、入居者様自身が出来る事をやっていただき、コミュニケーションをとりながら支えあう関係を築けるようにしています。		
28	**○本人を共に支えあう家族との関係** 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事への参加や年末の大掃除に積極的に参加していただき、共に支えていく関係を築けています。暮らしぶりを伝える事で喜怒哀楽を共にできています。		
29	**○本人と家族のよりよい関係に向けた支援** これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居時や面会時にご家族にお話を聞かせていただき、家族関係を理解するように勤めています。ご本人にもお話を聞いて、より良い関係が築いていけるように支援しています。		
30	**○馴染みの人や場との関係継続の支援** 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームへは気軽にきていただけるような雰囲気作りに努めていますが希望される馴染みの場所へ行くことの支援は出来ていません。	○	希望される場所への外出支援ができるようにしていきたいです。
31	**○利用者同士の関係の支援** 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様が孤立しないように職員が間に入り話題を提供しています。入居者様同士の関係を十分に把握するように努力しています。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	**○関係を断ち切らない取り組み** サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	継続的な関わりは特にもっていません。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント **1．一人ひとりの把握**				
33	**○思いや意向の把握** 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様の希望を理解し把握に努めてご本人の意思を尊重する対応を検討しています。		
34	**○これまでの暮らしの把握** 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族、本人と面接して今までの生活環境を把握するようにしています。		
35	**○暮らしの現状の把握** 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者様それぞれのペースで快適に過ごしていただけるように、心身状態、現状を把握するようにしています。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	**○チームでつくる利用者本位の介護計画** 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	定期的にカンファレンスを行い本人と家族の要望を取り入れ、職員同士の意見交換をしながら、介護計画を作成しています。		
37	**○現状に即した介護計画の見直し** 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化がみられた時には家族、本人、職員の意見を聞いて現状にあった計画を作成しています。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	**○個別の記録と実践への反映** 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活についての記録を介護記録に記入しています。ケアについての連絡事項は連絡ノートに記入して情報を共有できるようにしています。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	**○事業所の多機能性を活かした支援** 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	パンの訪問販売を利用し全入居者様にご自分でパンを選んでいただき購入していただいています。	○	今後も多機能性を活かして支援していきたいです。
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	**○地域資源との協働** 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	入居者様も参加し消防の方と防災訓練を実施しています。月に2回、習字の先生とボランティアの方がホームに来てくださって、支援していただいています。		
41	**○他のサービスの活用支援** 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在は支援できていません。	○	他のサービスについての情報をいただきたいです。
42	**○地域包括支援センターとの協働** 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの交流はありますが、権利擁護などについての話し合いは行なわれていません。		
43	**○かかりつけ医の受診支援** 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医のある場合は、医療の選択は利用者様の家族に決めていただいて適切な医療が受けられるように支援しています。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	**○認知症の専門医等の受診支援** 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	定期的な精神科医の往診があり、相談しています。		
45	**○看護職との協働** 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	かかりつけ医の往診を利用している入居者様には定期的に看護師の訪問がありますがホームとしては看護師との関わりはありません。	○	地域の看護師との連携がとれるようにしていきたいです。
46	**○早期退院に向けた医療機関との協働** 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先と情報交換を行いながら早期退院できるようにしています。		
47	**○重度化や終末期に向けた方針の共有** 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合はドクターに相談し職員で話し合いし、家族ともよく話し合いをして方針を決めています。		
48	**○重度化や終末期に向けたチームでの支援** 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	できる事とできない事を見極めてドクターと相談しながら支援に取り組んでいます。		
49	**○住み替え時の協働によるダメージの防止** 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移り住む際には本人の気持ちを尊重した上でご家族と職員で話し合いをして、移動先にも情報を提供しています。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	**○プライバシーの確保の徹底** 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者様への対応、声かけには心配りをし個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。		
51	**○利用者の希望の表出や自己決定の支援** 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の思いを傾聴して、自分で納得して決定できるように支援しています。又、入居者様の理解力に応じて説明しています。		
52	**○日々のその人らしい暮らし** 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や買物などご本人の希望を聞いて支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	**○身だしなみやおしゃれの支援** その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている	ホームに理美容師が出向いてくれていて、ご本人の希望を聞いて行なっています。		
54	**○食事を楽しむことのできる支援** 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と職員は一緒に食事をし買物、食事の準備や配膳、下膳を職員と協力しています。		
55	**○本人の嗜好の支援** 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入居者様と買物に行った際にはおやつの好みを聞き選んでもらっています。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	**○気持よい排泄の支援** 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンを把握し時間でのトイレ誘導を行なっています。オムツを使用せず必要に応じてリハビリパンツ、尿取りパットを使用しています。		
57	**○入浴を楽しむことができる支援** 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者様の体調に配慮し、入浴していただいています。出来る限りご本人の希望に合わせて、入浴が良い気分転換になるよう努めています。	○	日によって職員不足で入浴が出来ない日があったり、夜間帯の入浴希望者がいても対応できていない為、希望に応じられる体制にしていきたいです。
58	**○安眠や休息の支援** 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	生活習慣、その日の状況に応じて休息してただいています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	**○役割、楽しみごと、気晴らしの支援** 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者様の力を活かした役割ができており、買物の同行や洗濯たたみ、配膳等を協力して行いながら支援しています。		
60	**○お金の所持や使うことの支援** 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様が直接お金を携帯する事はありませんが、支払い時には、入居者様の力に応じて使う機会をもっています。		
61	**○日常的な外出支援** 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご本人の希望に応じて近隣を散歩したり、ドライブへでかけたり、買物に行くなどして気分転換をしていただいています。		
62	**○普段行けない場所への外出支援** 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節ごとに花見や秋の遠足等の行事で出掛ける機会をつくっています。		

	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組んでいきたい内容 （すでに取り組んでいることも含む）
63	**○電話や手紙の支援** 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	相手の事も配慮した上で必要に応じ要望を伺いながら支援しています。		
64	**○家族や馴染みの人の訪問支援** 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問できるように支援しています。		
（4）安心と安全を支える支援				
65	**○身体拘束をしないケアの実践** 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		
66	**○鍵をかけないケアの実践** 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間帯以外はカギをかけず開放しており、自由に出入りできるようにしています。		
67	**○利用者の安全確認** 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に入居者様の様子に気を配りながら安全に配慮し、所在確認に気をつけています。		
68	**○注意の必要な物品の保管・管理** 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人一人の状態に応じて保管、管理しています。		
69	**○事故防止のための取り組み** 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	与薬の際には日付と名前を声を出して確認しています。行方不明、火災についてはマニュアルがあります。転倒時にはアクシデント・ヒヤリハット報告書に記入し事故防止に取り組んでいます。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	**○急変や事故発生時の備え** 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応マニュアルがありミーティングの際に説明をしています。		
71	**○災害対策** 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	一年に2回以上、防災訓練を実施しています。訓練の際には近隣の方にも声をかけています。		
72	**○リスク対応に関する家族等との話し合い** 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	リスクについては入居時、および必要に応じて説明しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	**○体調変化の早期発見と対応** 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝、バイタルチェックを行いバイタルチェック以外でも一日を通して観察し変化に気付けるようにしています。体調に変化があった時にはドクターに指示をもらっています。指示等は情報を共有できるように記録に残して申し送りをしています。		
74	**○服薬支援** 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明を入居者様の個人ファイルに閉じてあり、職員が確認できるようにしています。薬の変更の際には申し送りをして、連絡ノートで伝達しています。		
75	**○便秘の予防と対応** 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	朝のお茶の時間にコーヒーや紅茶を希望された方には牛乳を入れています。オリゴ糖やヨーグルトを摂取して頂き便秘予防に取り組んでいます。		
76	**○口腔内の清潔保持** 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを職員見守りで実施しています。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	**○栄養摂取や水分確保の支援** 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を毎食記録し一人一人の食事量を把握した上で支援しています。栄養の取れていない方に対しては医師に相談し補助食品などで補っています。		
78	**○感染症予防** 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等)	食品衛生責任者が中心となり、感染症に対する勉強会を行なって、ノロウイルスに対する対策を実施しています。		
79	**○食材の管理** 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所、調理用具を毎日消毒し冷蔵庫の温度管理をしています。週3回新鮮な食材を購入し食品の賞味期限の確認をして食材開放日の記入をしています。		
２．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり **(1) 居心地のよい環境づくり**				
80	**○安心して出入りできる玄関まわりの工夫** 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は段差がなく、季節に合わせた飾りつけや行事の際の写真を貼るなどし親しみやすい環境づくりをしています。		
81	**○居心地のよい共用空間づくり** 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには季節ごとの飾りや入居者様の作品を展示して季節感を取り入れています。BGMやテレビの音量を適音にして不快な音のないように配慮しています。		
82	**○共用空間における一人ひとりの居場所づくり** 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファーがあり一人でテレビを観たり、洗濯たたみをされたり、気の合った入居者様同士で談話できるような空間をつくっています。		

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	**○居心地よく過ごせる居室の配慮** 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際にはご家族とも相談し馴染みのものや家具など持ち込んでいただき本人が安心できるようにしています。		
84	**○換気・空調の配慮** 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝の掃除の際に換気を行い日中夜間とも温度調整には気をつけています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	**○身体機能を活かした安全な環境づくり** 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に配慮し身体機能を活かせるよう、風呂場、トイレ、廊下全体に手すりを設置しています。		
86	**○わかる力を活かした環境づくり** 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレや居室のドアに名前や目印をはり、声かけ誘導で、混乱を防げるようにしています。		
87	**○建物の外周りや空間の活用** 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	菜園があり、四季折々の野菜収獲を楽しんでいます。敷地内にはいくつかベンチを置き外気浴ができるようにしています。		

Ⅴ．サービスの成果に関する項目

	項　目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点･アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。）

平屋で階段もなくゆったりとしたスペースのため、生活しやすいと思います。環境もよく自家菜園あり四季折々の野菜を収穫して喜びをともにしています。　年間行事ではお花見や遠足で動物園に出かけたりしながら、入居者様と職員が一緒に楽しんでいます。
日中は鍵をかけないケアに取組みながら安全面にも配慮しています。　入居者様本位で考えるケアを職員一体して行なえるよう努力しています。